

調査観測計画部会の活動状況

令和6年8月19日
地震調査研究推進本部
政策委員会調査観測計画部会

令和6年3月18日の第66回政策委員会以降の調査観測計画部会（部会長：日野亮太・国立大学法人東北大学大学院理学研究科教授）及び内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループ（主査：加藤愛太郎・国立大学法人東京大学地震研究所教授。以下「WG」という。）での活動状況は以下のとおり。

1. 内陸で発生する地震の長期予測手法の高度化について

第4回WG会合において、これまでのWGでの議論を踏まえ、内陸で発生する地震の新たな調査観測についての取りまとめ報告案の内容について議論を行った。取りまとめ報告案については、第4回WG会合での議論を踏まえつつ、第90回調査観測計画部会と第5回WGの合同会合でも議論を行い、調査観測計画部会長預かりののち、令和6年8月9日に調査観測計画部会として決定した（参考 政67-(2)）。

表1 最近の調査観測計画部会の開催状況

開催年月日	回	議題
令和6年6月4日（火）	第90回 ※	(1)内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループでの検討状況について (2)その他

※第5回内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループとの合同会議

表2 最近の内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループの開催状況

開催年月日	回	議題
令和6年5月24日（金）	第4回	(1)内陸で発生する地震の長期予測手法の高度化に向けて取り組むべき調査観測について (2)その他
令和6年6月4日（火）	第5回 ※	(1)内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループでの検討状況について (2)その他

※第90回調査観測計画部会との合同会議